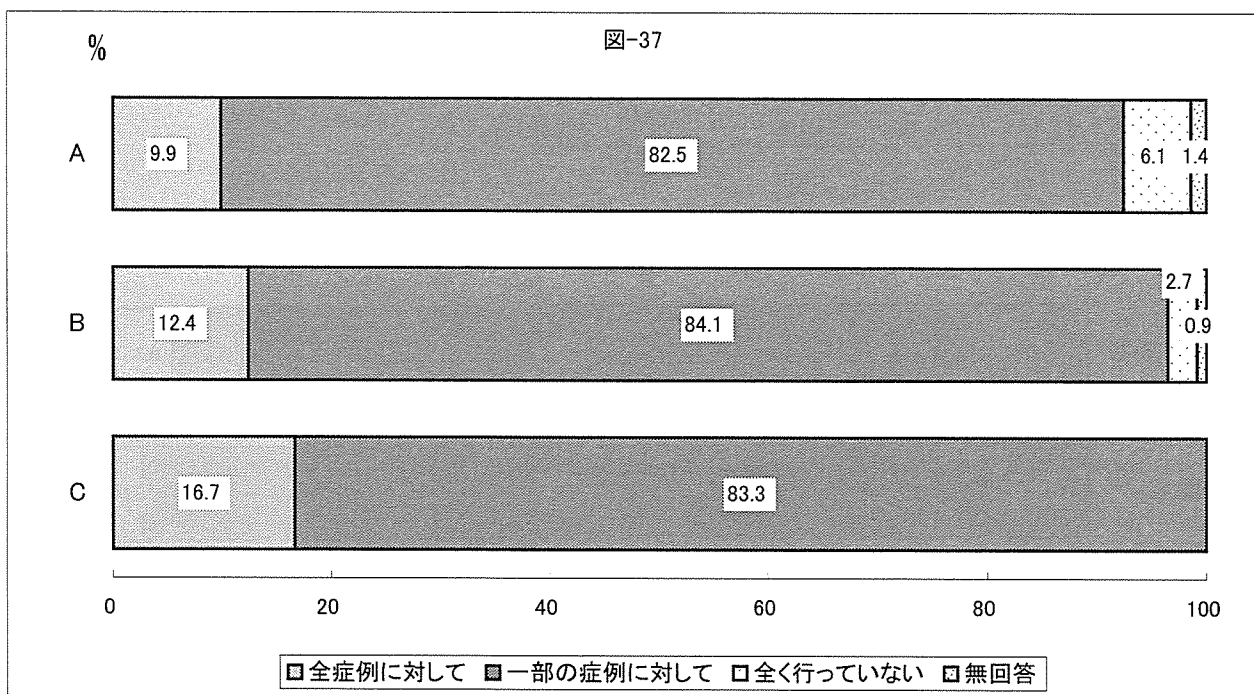


37. 死亡症例の検討会が定期的に行われている(臨床病理カンファレンスを含む)

回答		全症例に 対して	一部の症 例に対して	全く行って いない	無回答	合計
A	N	21	175	13	3	212
	%	(9.9)	(82.5)	(6.1)	(1.4)	(100)
B	N	14	95	3	1	113
	%	(12.4)	(84.1)	(2.7)	(0.9)	(100)
C	N	2	10			12
	%	(16.7)	(83.3)			(100)



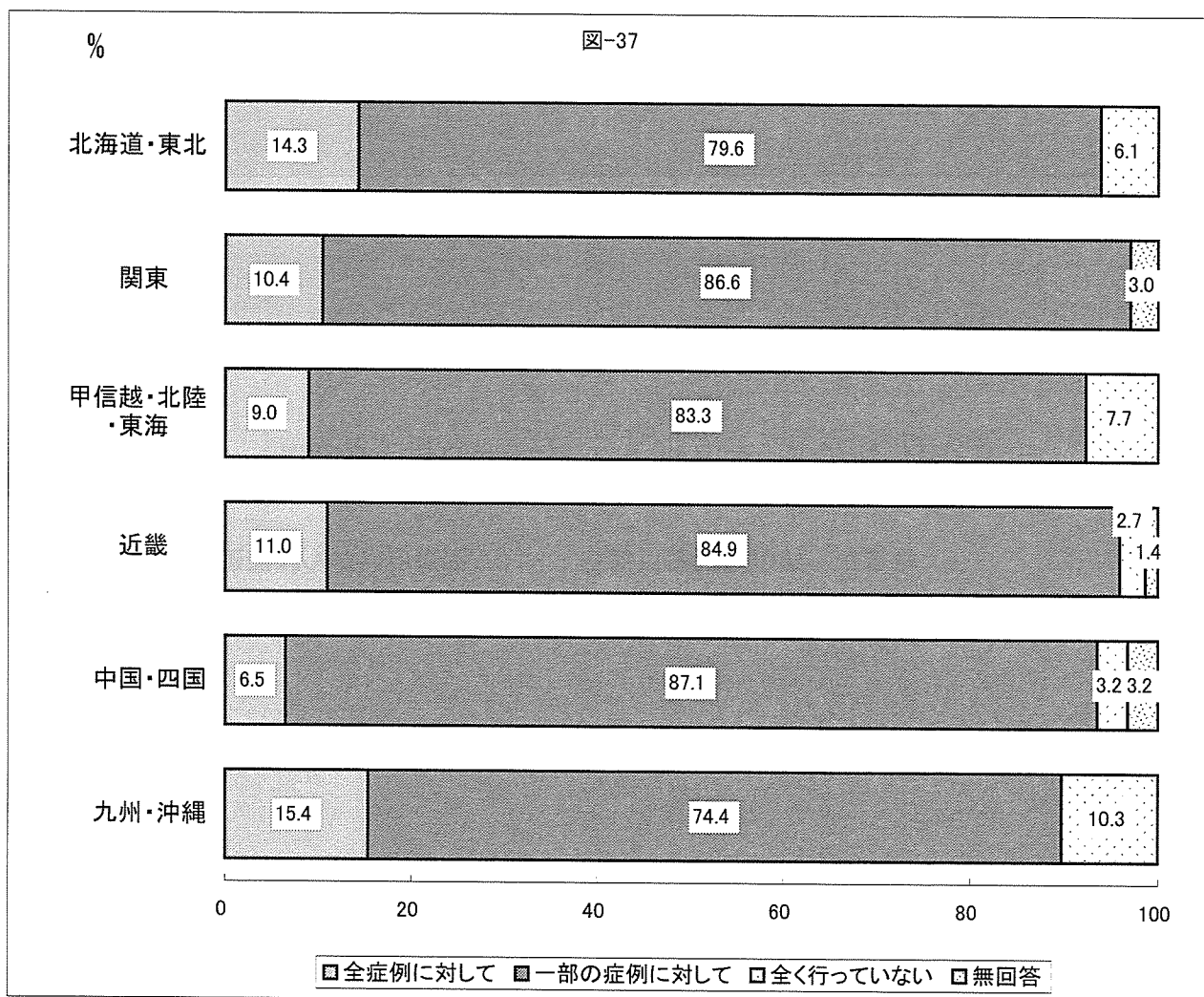
A : その他の病院

B : 地域がん診療連携拠点病院

C : 都道府県がん診療連携拠点病院

37. 死亡症例の検討会が定期的に行われている(臨床病理カンファレンスを含む)

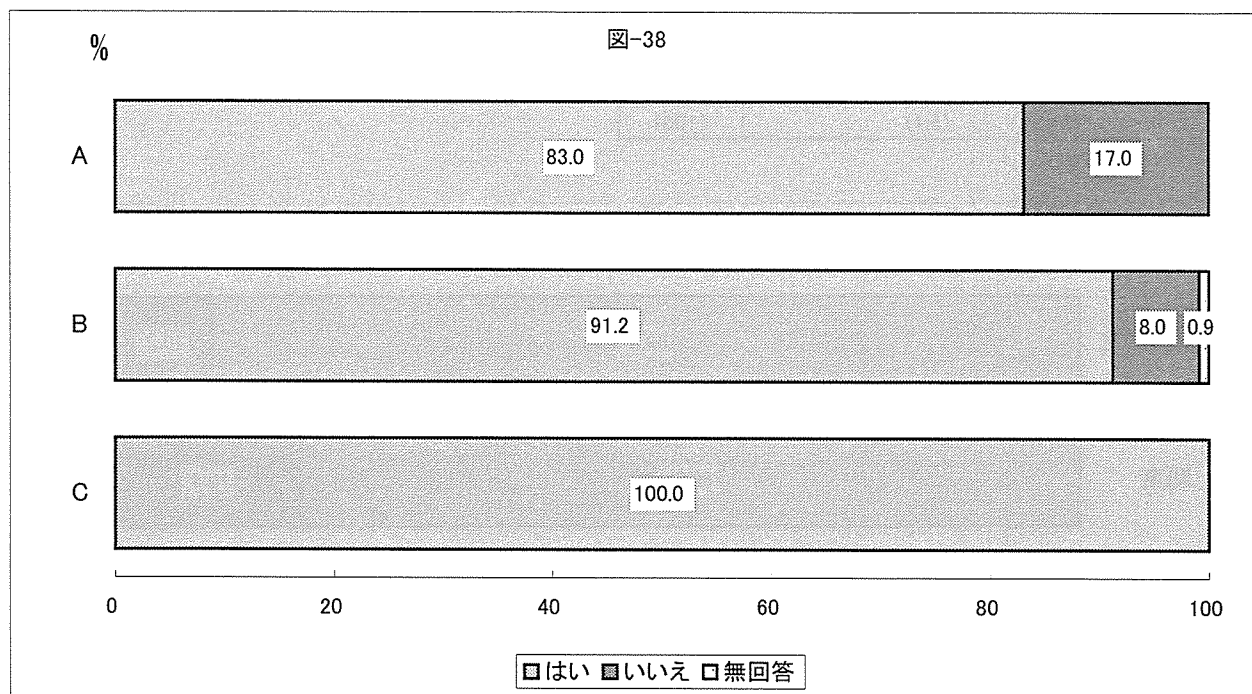
回答		全症例に 対して	一部の症 例に対して	全く行って いない	無回答	合計
北海道・ 東北	N	7	39	3		49
	%	(14.3)	(79.6)	(6.1)		(100)
関東	N	7	58		2	67
	%	(10.4)	(86.6)		(3.0)	(100)
甲信越・ 北陸・東海	N	7	65	6		78
	%	(9.0)	(83.3)	(7.7)		(100)
近畿	N	8	62	2	1	73
	%	(11.0)	(84.9)	(2.7)	(1.4)	(100)
中国・四国	N	2	27	1	1	31
	%	(6.5)	(87.1)	(3.2)	(3.2)	(100)
九州・沖縄	N	6	29	4		39
	%	(15.4)	(74.4)	(10.3)		(100)



4.5 職員教育・臨床研修

38. 職員なら誰でも常時インターネットを通じて、がん治療に関する最新の情報を利用できる環境にある

回答		はい	いいえ	無回答	合計
A	N	176	36		212
	%	(83.0)	(17.0)		(100)
B	N	103	9	1	113
	%	(91.2)	(8.0)	(0.9)	(100)
C	N	12			12
	%	(100.0)			(100)



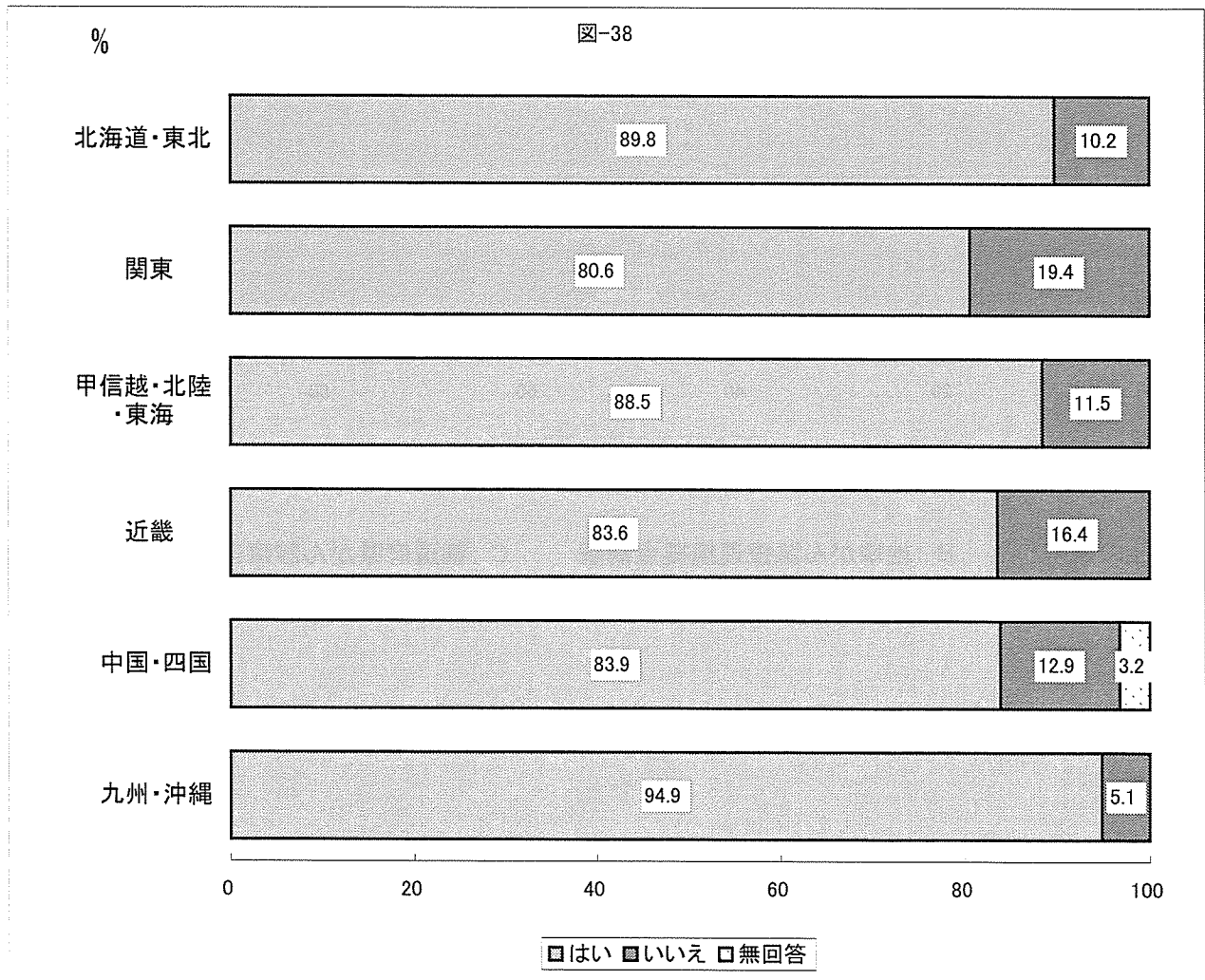
A : その他の病院

B : 地域がん診療連携拠点病院

C : 都道府県がん診療連携拠点病院

38. 職員なら誰でも常時インターネットを通じて、がん治療に関する最新の情報を利用できる環境にある

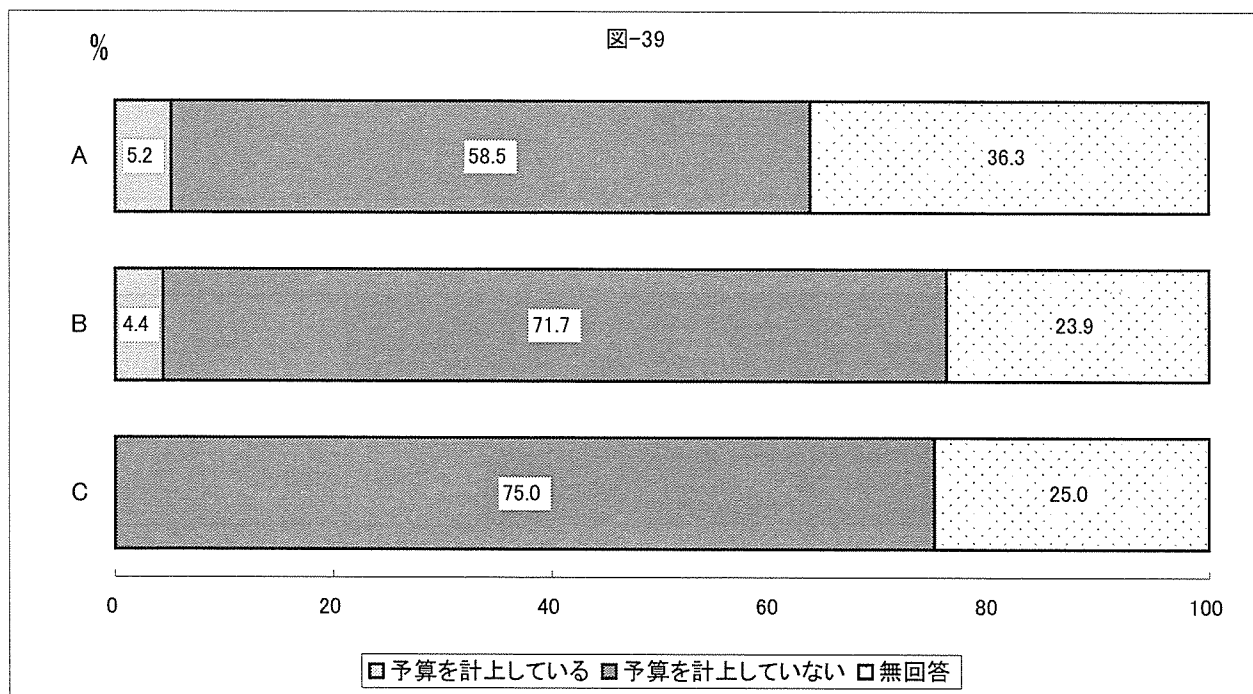
回答		はい	いいえ	無回答	合計
北海道・東北	N	44	5		49
	%	(89.8)	(10.2)		(100)
関東	N	54	13		67
	%	(80.6)	(19.4)		(100)
甲信越・北陸・東海	N	69	9		78
	%	(88.5)	(11.5)		(100)
近畿	N	61	12		73
	%	(83.6)	(16.4)		(100)
中国・四国	N	26	4	1	31
	%	(83.9)	(12.9)	(3.2)	(100)
九州・沖縄	N	37	2		39
	%	(94.9)	(5.1)		(100)



39. 医師・看護師が、がん診療に関する施設外研修を受けるための予算を、計上している(複数回答可)

医師

回答		予算を計上している	予算を計上していない	無回答	合計
A	N	11	124	77	212
	%	(5.2)	(58.5)	(36.3)	(100)
B	N	5	81	27	113
	%	(4.4)	(71.7)	(23.9)	(100)
C	N		9	3	12
	%		(75.0)	(25.0)	(100)



A : その他の病院

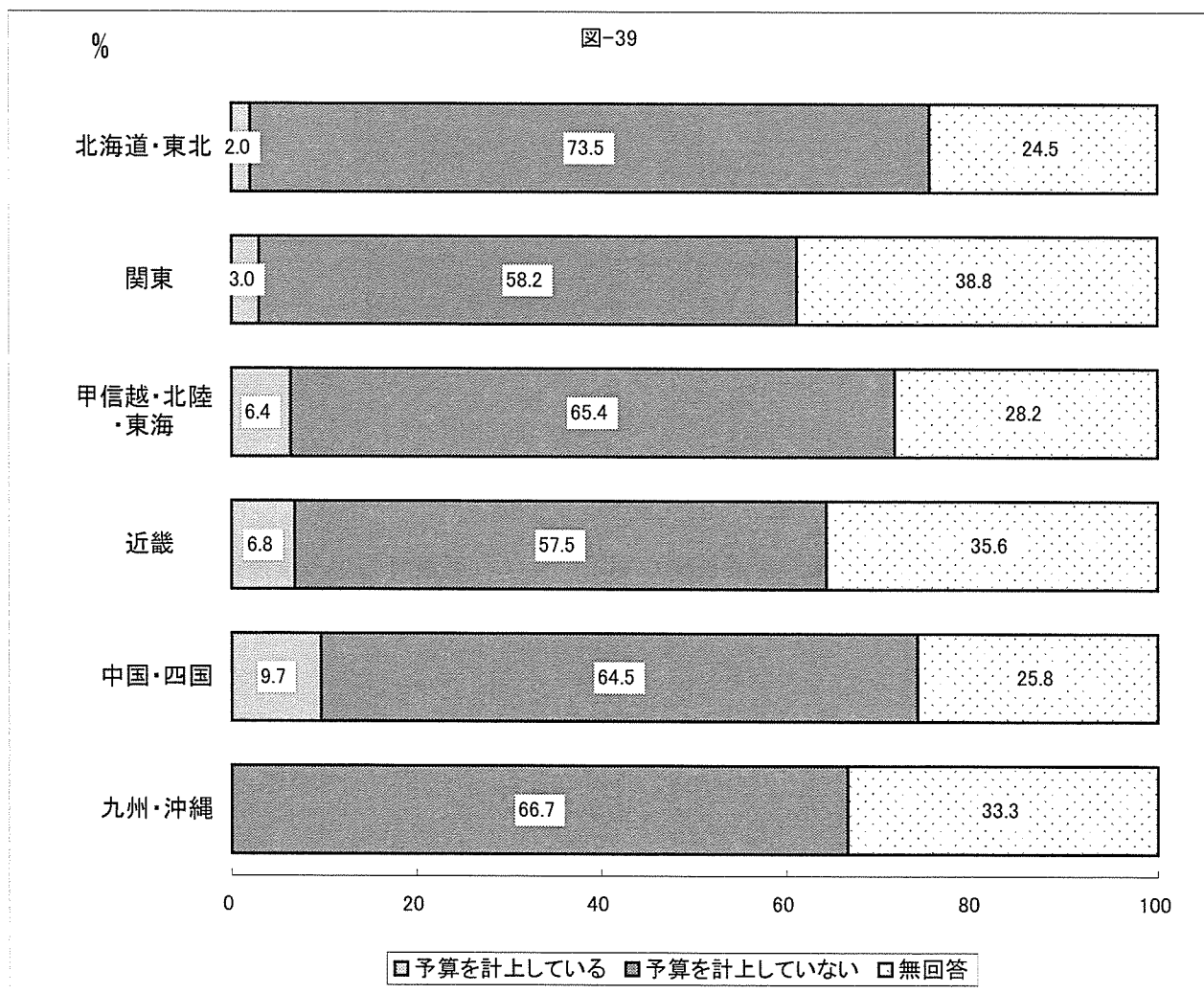
B : 地域がん診療連携拠点病院

C : 都道府県がん診療連携拠点病院

39. 医師・看護師が、がん診療に関する施設外研修を受けるための予算を、計上している(複数回答可)

医師

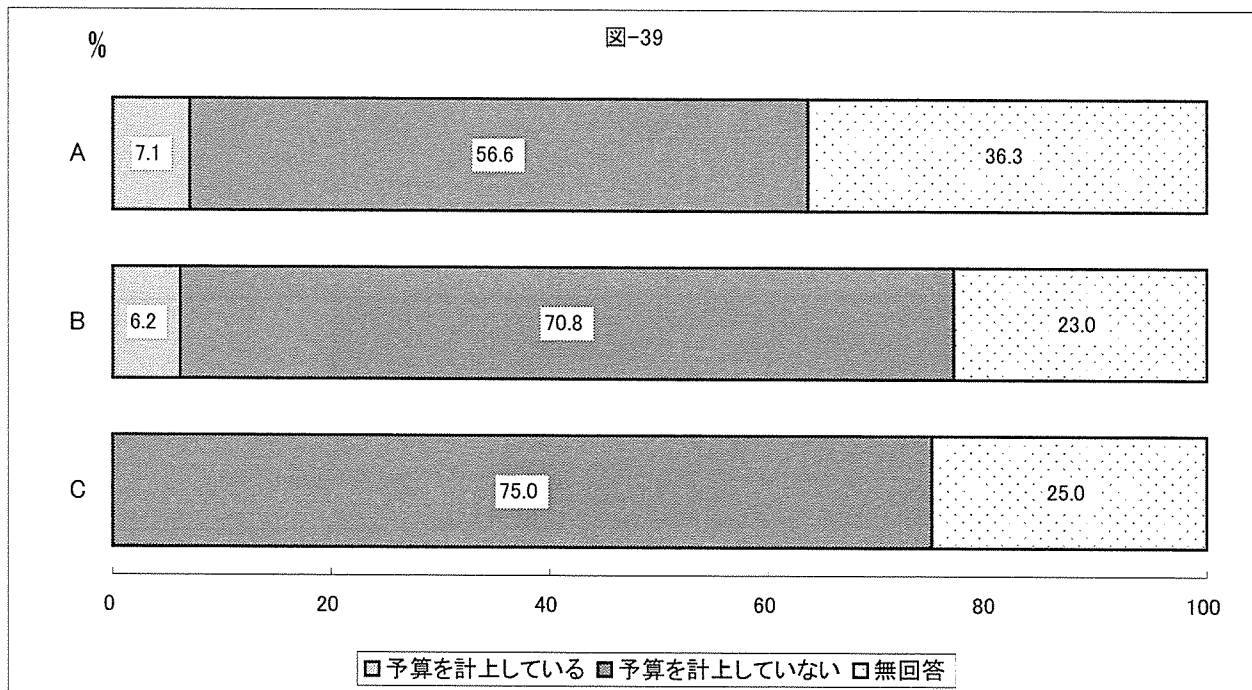
回答		予算を計上している	予算を計上していない	無回答	合計
北海道・東北	N	1	36	12	49
	%	(2.0)	(73.5)	(24.5)	(100)
関東	N	2	39	26	67
	%	(3.0)	(58.2)	(38.8)	(100)
甲信越・北陸・東海	N	5	51	22	78
	%	(6.4)	(65.4)	(28.2)	(100)
近畿	N	5	42	26	73
	%	(6.8)	(57.5)	(35.6)	(100)
中国・四国	N	3	20	8	31
	%	(9.7)	(64.5)	(25.8)	(100)
九州・沖縄	N		26	13	39
	%		(66.7)	(33.3)	(100)



39. 医師・看護師が、がん診療に関する施設外研修を受けるための予算を、計上している(複数回答可)

看護師

回答	予算を計上している		無回答	合計	
	計上している	計上していない			
A	N	15	120	77	212
	%	(7.1)	(56.6)	(36.3)	(100)
B	N	7	80	26	113
	%	(6.2)	(70.8)	(23.0)	(100)
C	N		9	3	12
	%		(75.0)	(25.0)	(100)



A : その他の病院

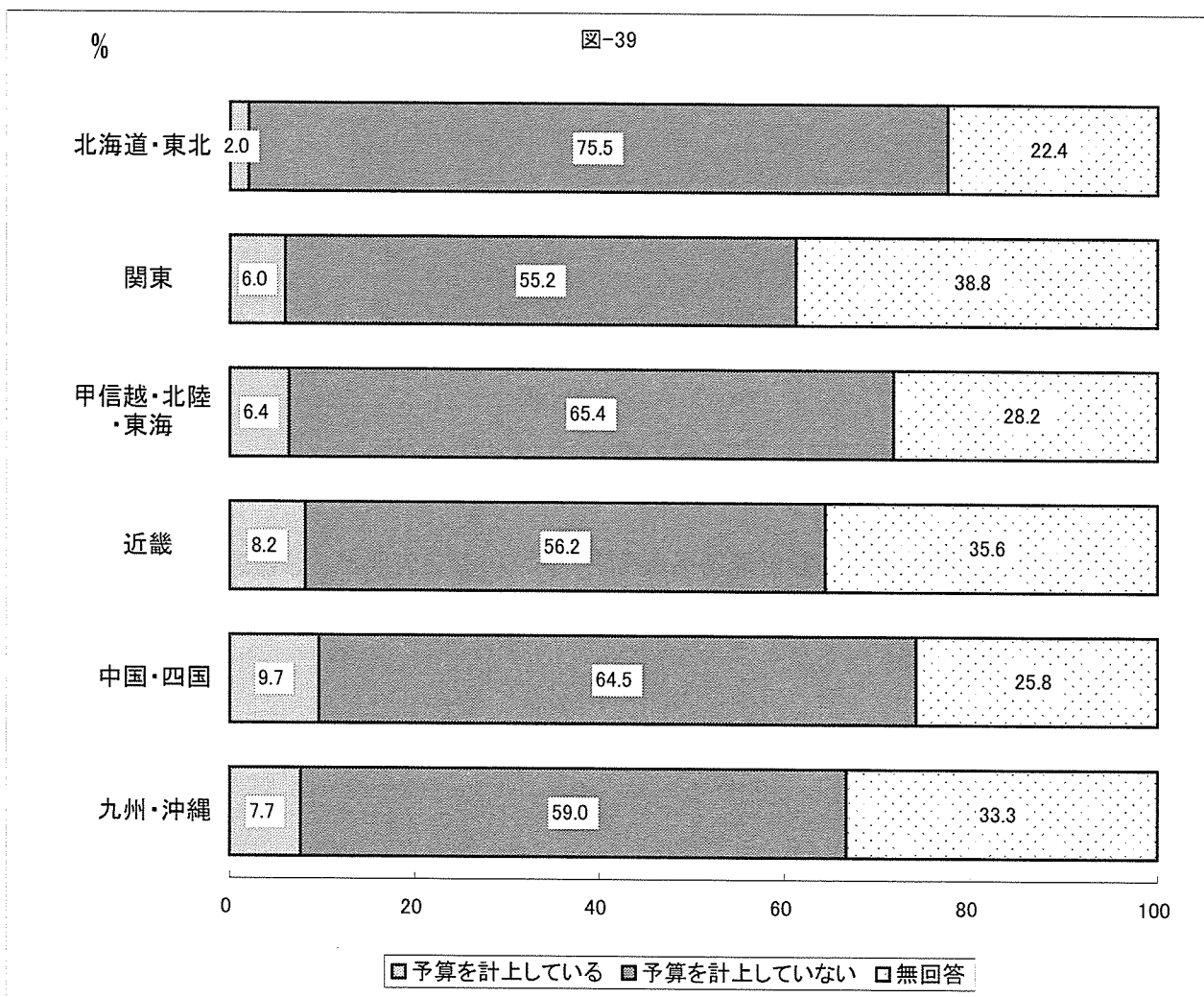
B : 地域がん診療連携拠点病院

C : 都道府県がん診療連携拠点病院

39. 医師・看護師が、がん診療に関する施設外研修を受けるための予算を、計上している(複数回答可)

看護師

回答		予算を計上している	予算を計上していない	無回答	合計
北海道・東北	N	1	37	11	49
	%	(2.0)	(75.5)	(22.4)	(100)
関東	N	4	37	26	67
	%	(6.0)	(55.2)	(38.8)	(100)
甲信越・北陸・東海	N	5	51	22	78
	%	(6.4)	(65.4)	(28.2)	(100)
近畿	N	6	41	26	73
	%	(8.2)	(56.2)	(35.6)	(100)
中国・四国	N	3	20	8	31
	%	(9.7)	(64.5)	(25.8)	(100)
九州・沖縄	N	3	23	13	39
	%	(7.7)	(59.0)	(33.3)	(100)

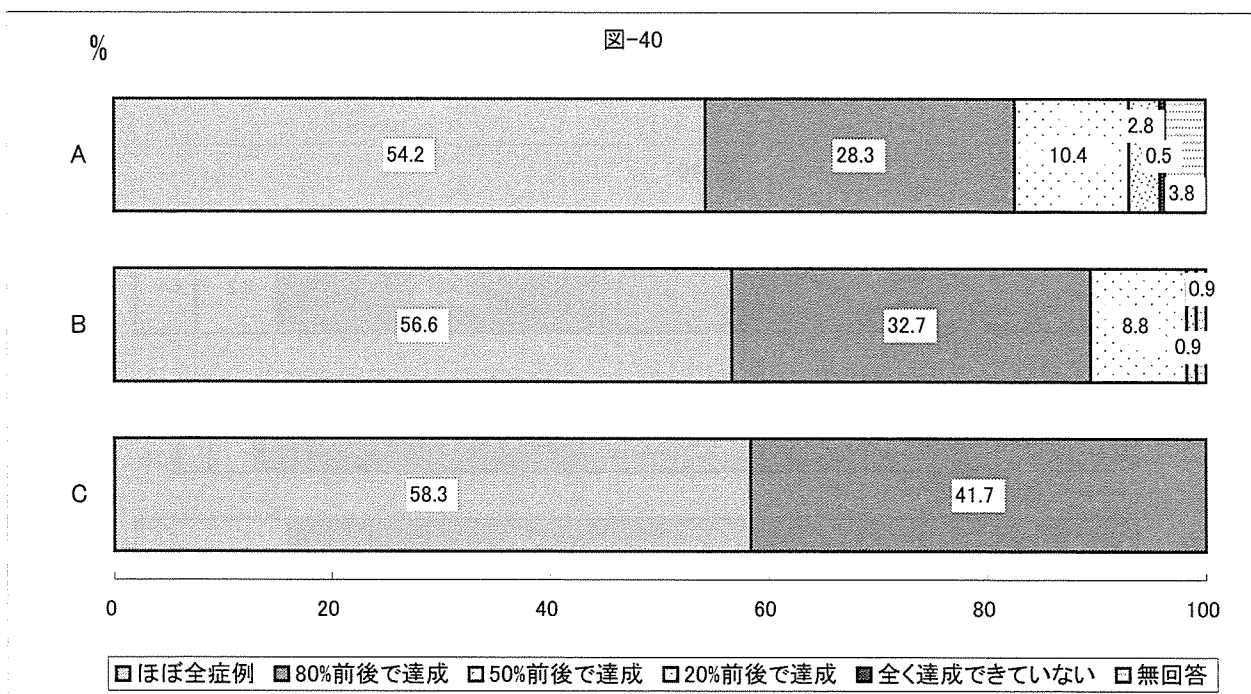


第5領域 医療の質と安全のためのケアプロセス

5.1 がんの診断

40. 担当医師は、適切な分類を用いた病期を診療記録に明記している

回答		ほぼ全症例	80%前後で達成	50%前後で達成	20%前後で達成	全く達成できていない	無回答	合計
A	N	115	60	22	6	1	8	212
	%	(54.2)	(28.3)	(10.4)	(2.8)	(0.5)	(3.8)	(100)
B	N	64	37	10	1		1	113
	%	(56.6)	(32.7)	(8.8)	(0.9)		(0.9)	(100)
C	N	7	5					12
	%	(58.3)	(41.7)					(100)



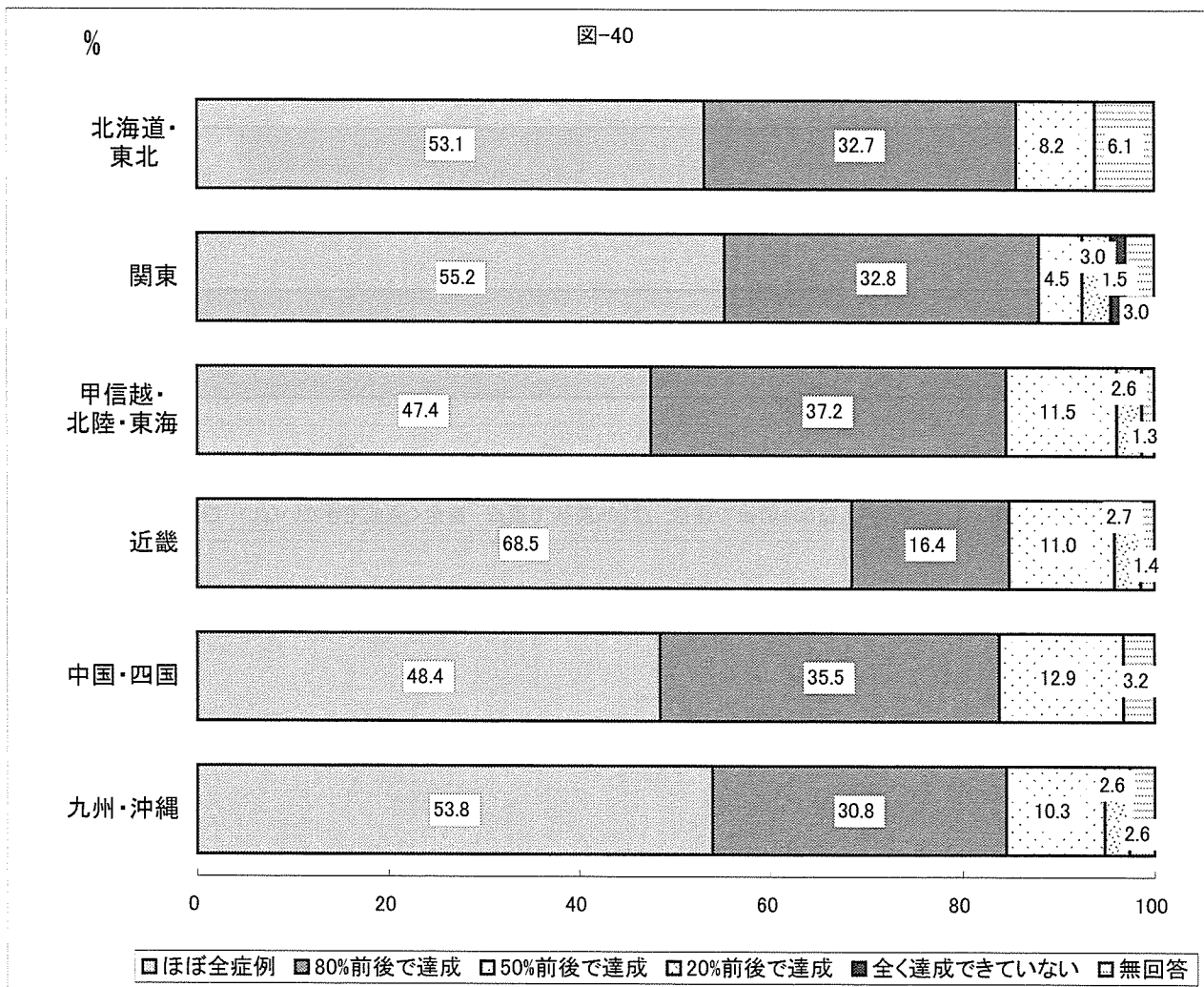
A : その他の病院

B : 地域がん診療連携拠点病院

C : 都道府県がん診療連携拠点病院

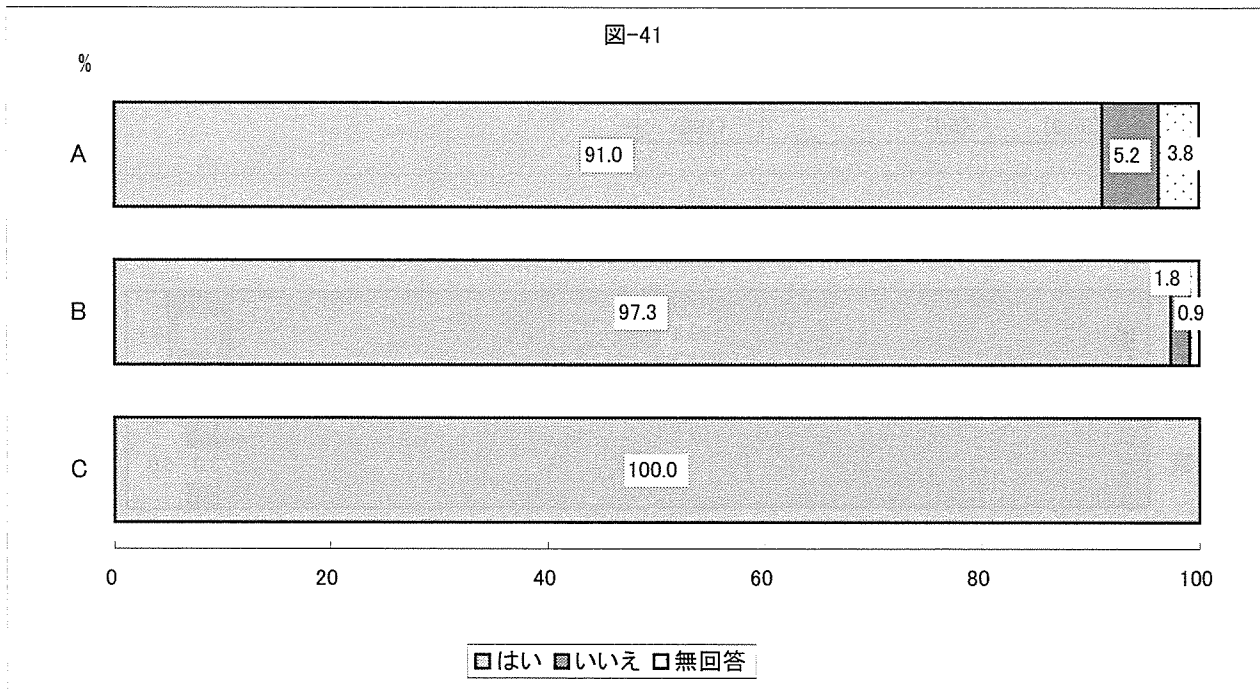
40. 担当医師は、適切な分類を用いた病期を診療記録に明記している

回答		ほぼ全症例	80%前後で達成	50%前後で達成	20%前後で達成	全く達成できていない	無回答	合計
北海道・東北	N	26	16	4			3	49
	%	(53.1)	(32.7)	(8.2)			(6.1)	(100)
関東	N	37	22	3	2	1	2	67
	%	(55.2)	(32.8)	(4.5)	(3.0)	(1.5)	(3.0)	(100)
甲信越・北陸・東海	N	37	29	9	2		1	78
	%	(47.4)	(37.2)	(11.5)	(2.6)		(1.3)	(100)
近畿	N	50	12	8	2		1	73
	%	(68.5)	(16.4)	(11.0)	(2.7)		(1.4)	(100)
中国・四国	N	15	11	4			1	31
	%	(48.4)	(35.5)	(12.9)			(3.2)	(100)
九州・沖縄	N	21	12	4	1		1	39
	%	(53.8)	(30.8)	(10.3)	(2.6)		(2.6)	(100)



41. 90%以上の症例で、がん組織分類(病理診断)が報告されている

回答		はい	いいえ	無回答	合計
A	N	193	11	8	212
	%	(91.0)	(5.2)	(3.8)	(100)
B	N	110	2	1	113
	%	(97.3)	(1.8)	(0.9)	(100)
C	N	12			12
	%	(100.0)			(100)



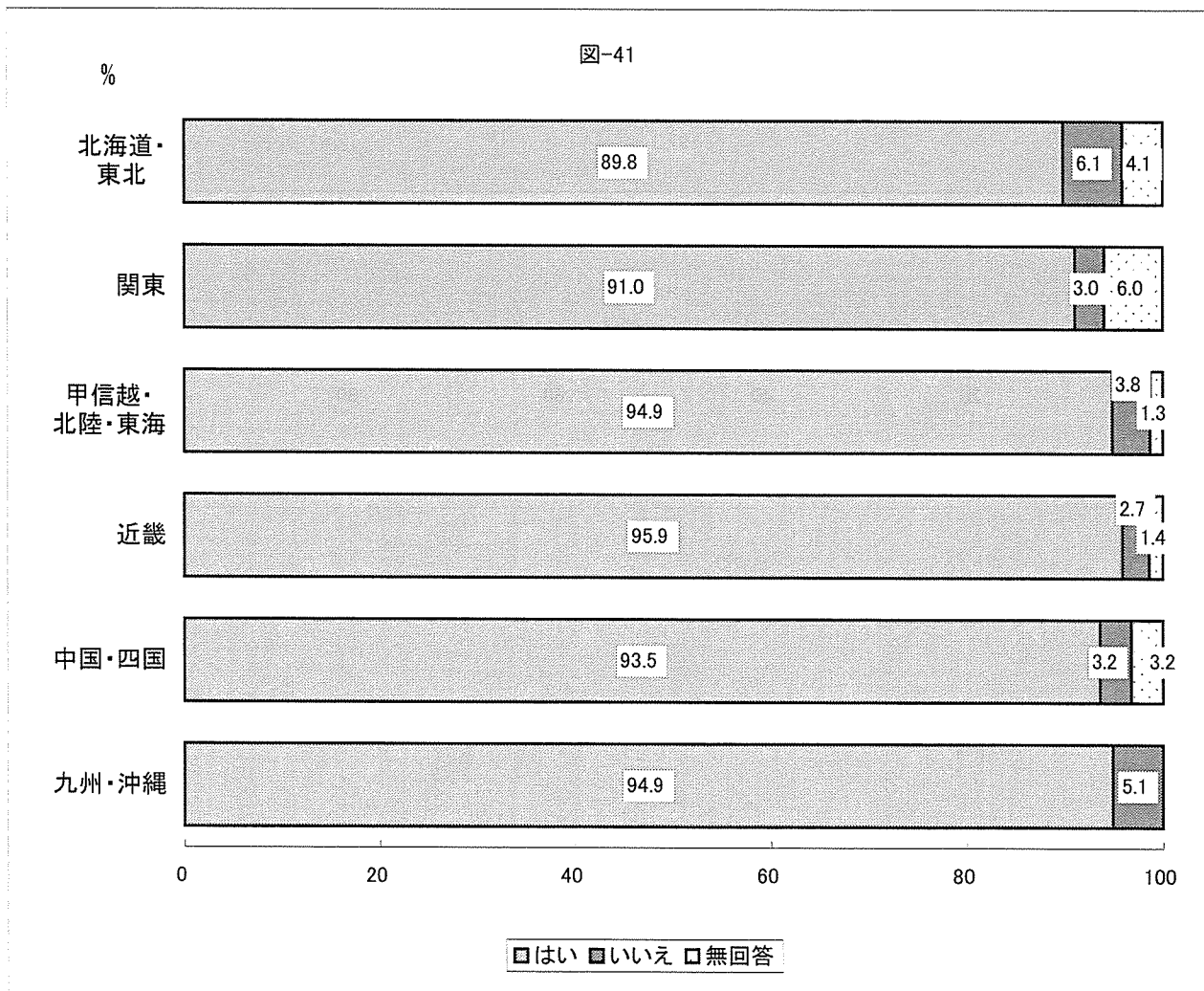
A : その他の病院

B : 地域がん診療連携拠点病院

C : 都道府県がん診療連携拠点病院

41. 90%以上の症例で、がん組織分類(病理診断)が報告されている

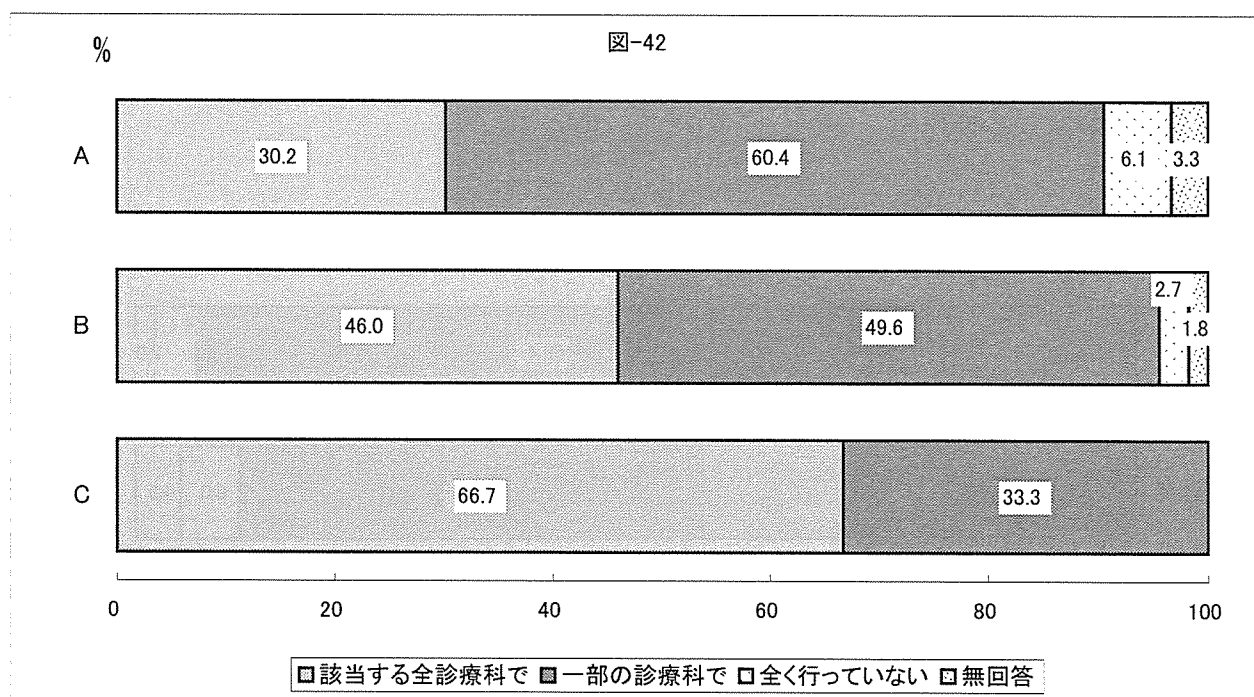
回答		はい	いいえ	無回答	合計
北海道・東北	N	44	3	2	49
	%	(89.8)	(6.1)	(4.1)	(100)
関東	N	61	2	4	67
	%	(91.0)	(3.0)	(6.0)	(100)
甲信越・北陸・東海	N	74	3	1	78
	%	(94.9)	(3.8)	(1.3)	(100)
近畿	N	70	2	1	73
	%	(95.9)	(2.7)	(1.4)	(100)
中国・四国	N	29	1	1	31
	%	(93.5)	(3.2)	(3.2)	(100)
九州・沖縄	N	37	2		39
	%	(94.9)	(5.1)		(100)



5.2 がんの診療の責任体制

42. 各診療科の責任者は、がん診療に関連した業務や標準的プロトコルの見直しを、定期的に行っている

回答		該当する全診療科で	一部の診療科で	全く行っていない	無回答	合計
A	N	64	128	13	7	212
	%	(30.2)	(60.4)	(6.1)	(3.3)	(100)
B	N	52	56	3	2	113
	%	(46.0)	(49.6)	(2.7)	(1.8)	(100)
C	N	8	4			12
	%	(66.7)	(33.3)			(100)



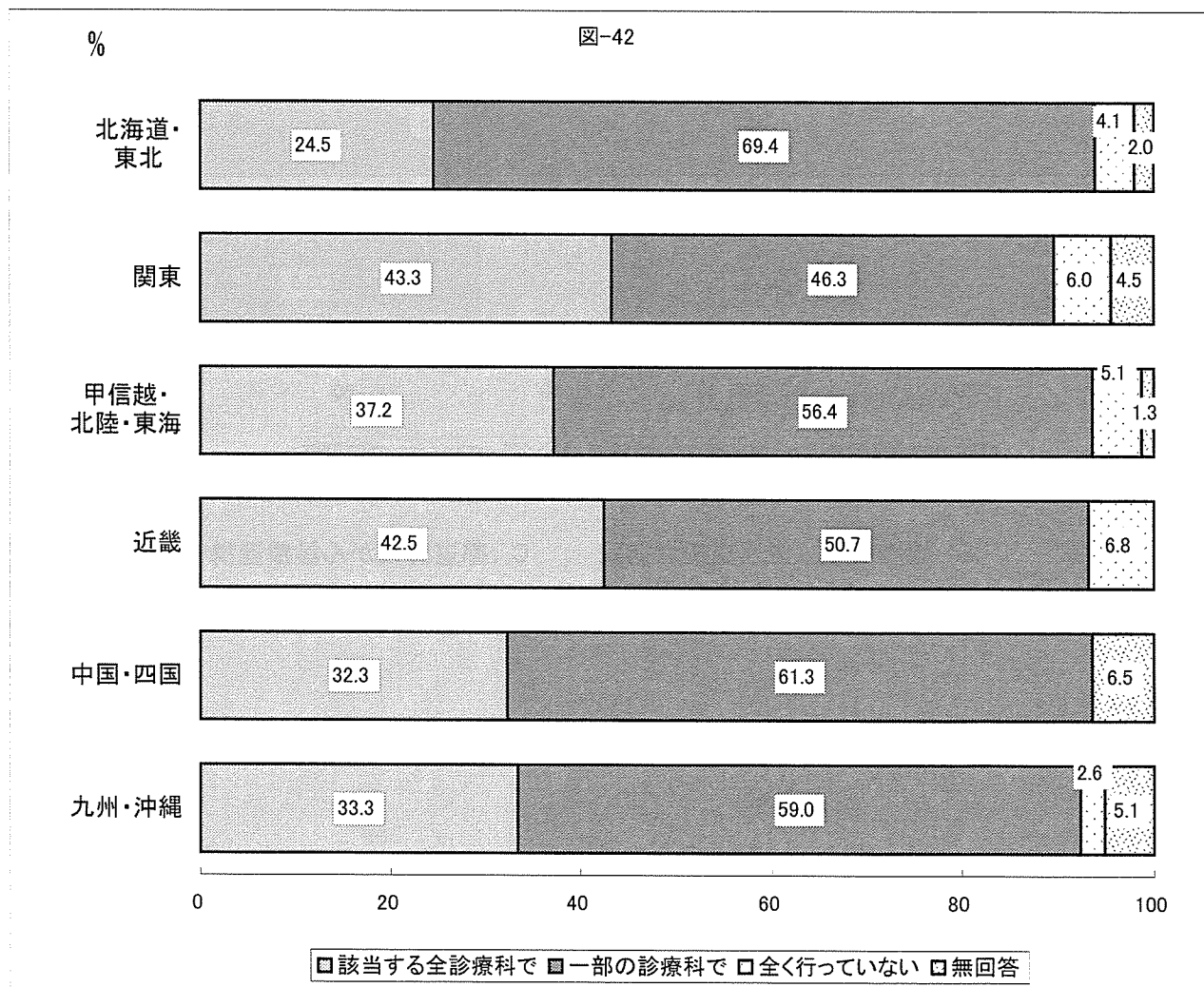
A : その他の病院

B : 地域がん診療連携拠点病院

C : 都道府県がん診療連携拠点病院

42. 各診療科の責任者は、がん診療に関連した業務や標準的プロトコルの見直しを、定期的に行っている

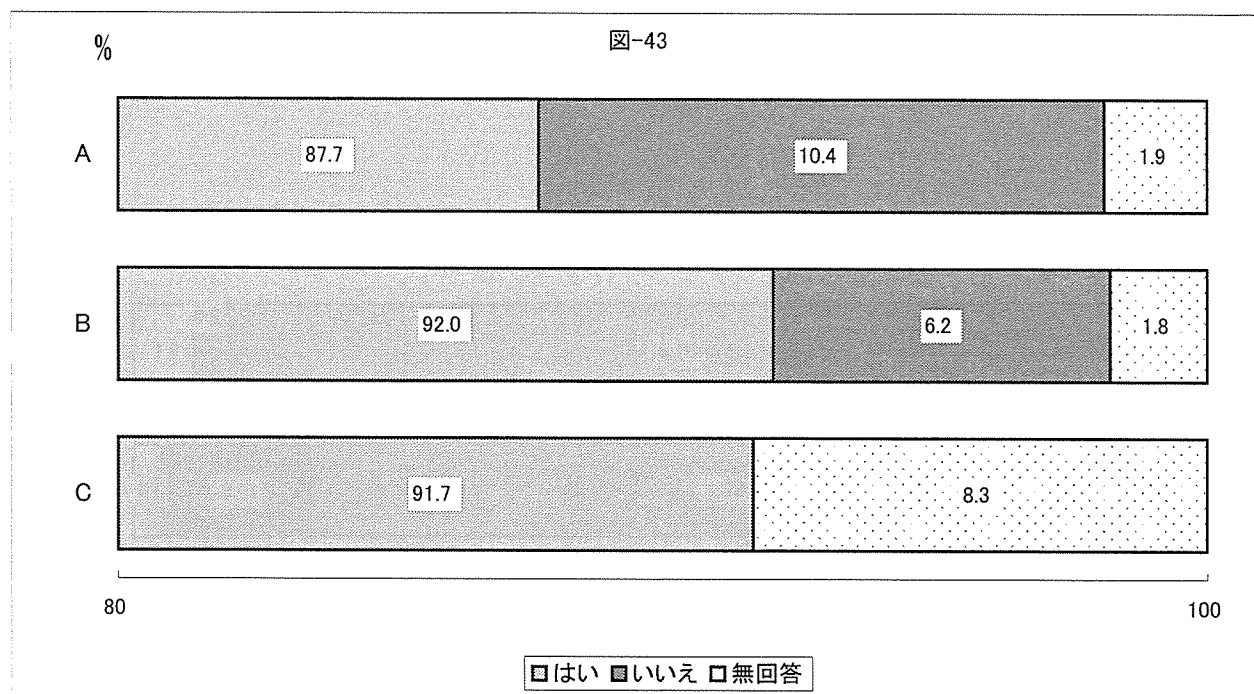
回答		該当する全診療科で	一部の診療科で	全く行っていない	無回答	合計
北海道・東北	N	12	34	2	1	49
	%	(24.5)	(69.4)	(4.1)	(2.0)	(100)
関東	N	29	31	4	3	67
	%	(43.3)	(46.3)	(6.0)	(4.5)	(100)
甲信越・北陸・東海	N	29	44	4	1	78
	%	(37.2)	(56.4)	(5.1)	(1.3)	(100)
近畿	N	31	37	5		73
	%	(42.5)	(50.7)	(6.8)		(100)
中国・四国	N	10	19		2	31
	%	(32.3)	(61.3)		(6.5)	(100)
九州・沖縄	N	13	23	1	2	39
	%	(33.3)	(59.0)	(2.6)	(5.1)	(100)



5.3 外来抗がん剤治療

43. 外来化学療法は、緊急事態(アナフィキラーシーや血管外漏出など)に備えた心肺蘇生用具・救急カート・酸素吸入装置が装備されている場所で行われている

回答		はい	いいえ	無回答	合計
A	N	186	22	4	212
	%	(87.7)	(10.4)	(1.9)	(100)
B	N	104	7	2	113
	%	(92.0)	(6.2)	(1.8)	(100)
C	N	11		1	12
	%	(91.7)		(8.3)	(100)



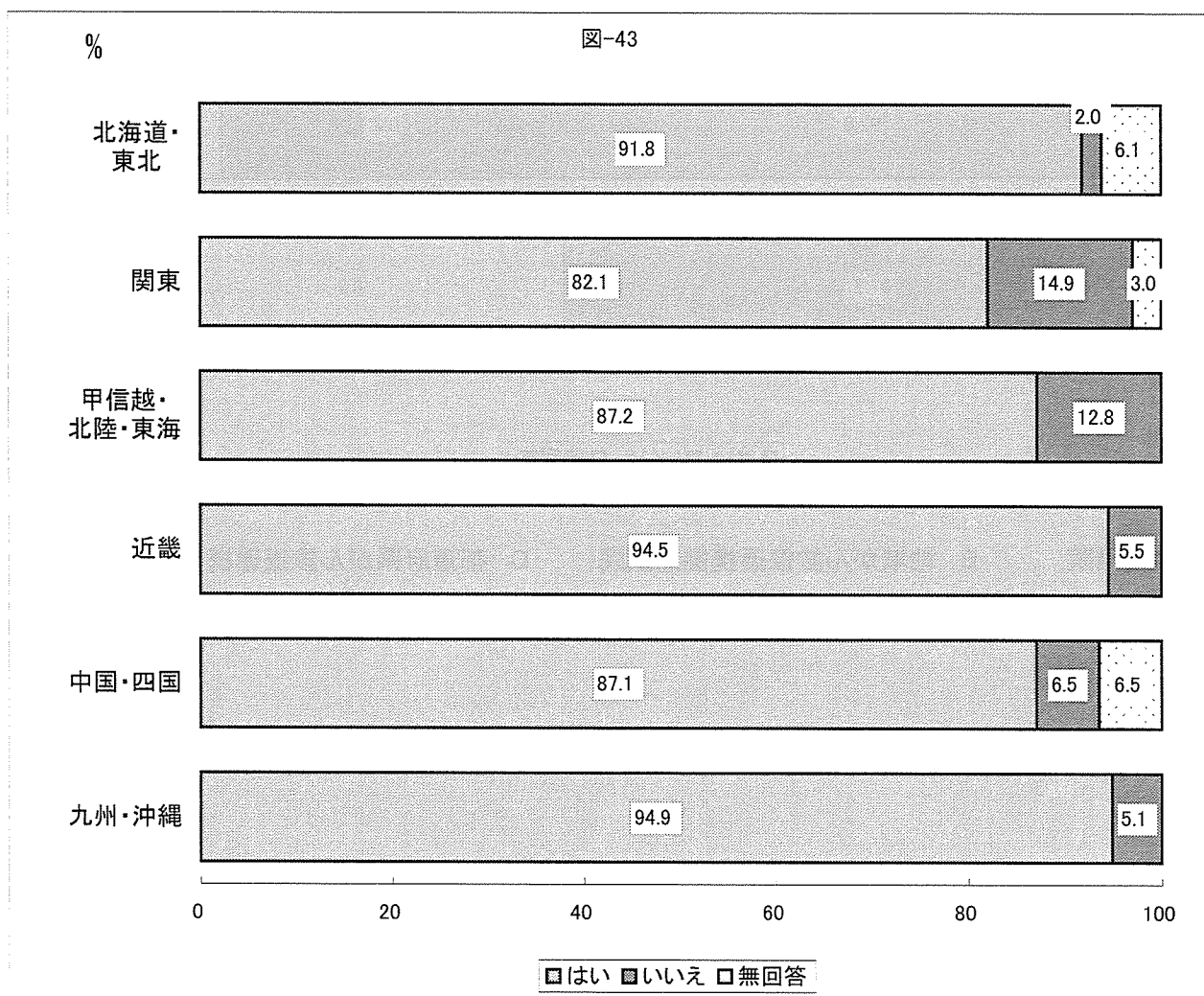
A : その他の病院

B : 地域がん診療連携拠点病院

C : 都道府県がん診療連携拠点病院

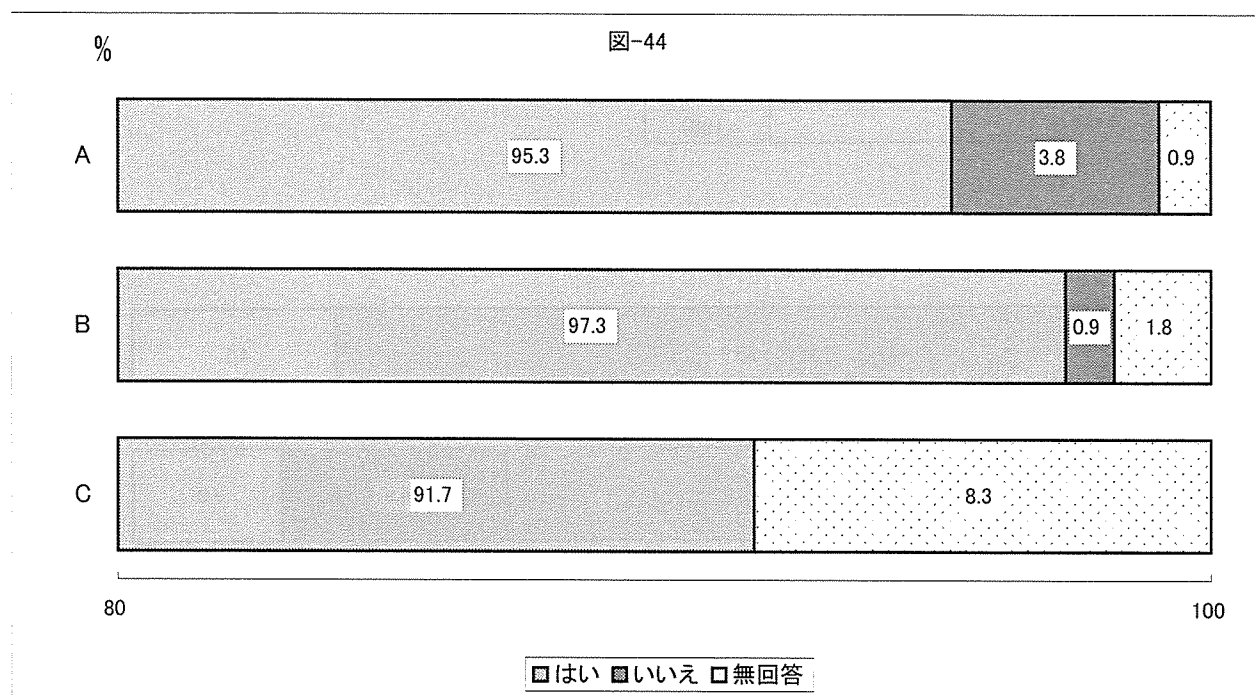
43. 外来化学療法は、緊急事態(アナフィキラーシーや血管外漏出など)に備えた心肺蘇生用具・救急カート・酸素吸入装置が装備されている場所で行われている

回答		はい	いいえ	無回答	合計
北海道・東北	N	45	1	3	49
	%	(91.8)	(2.0)	(6.1)	(100)
関東	N	55	10	2	67
	%	(82.1)	(14.9)	(3.0)	(100)
甲信越・北陸・東海	N	68	10		78
	%	(87.2)	(12.8)		(100)
近畿	N	69	4		73
	%	(94.5)	(5.5)		(100)
中国・四国	N	27	2	2	31
	%	(87.1)	(6.5)	(6.5)	(100)
九州・沖縄	N	37	2		39
	%	(94.9)	(5.1)		(100)



44. 緊急事態に備え、外来化学療法を受けている患者が常時、自院あるいは紹介先に入院できる体制が整っている

回答		はい	いいえ	無回答	合計
A	N	202	8	2	212
	%	(95.3)	(3.8)	(0.9)	(100)
B	N	110	1	2	113
	%	(97.3)	(0.9)	(1.8)	(100)
C	N	11		1	12
	%	(91.7)		(8.3)	(100)



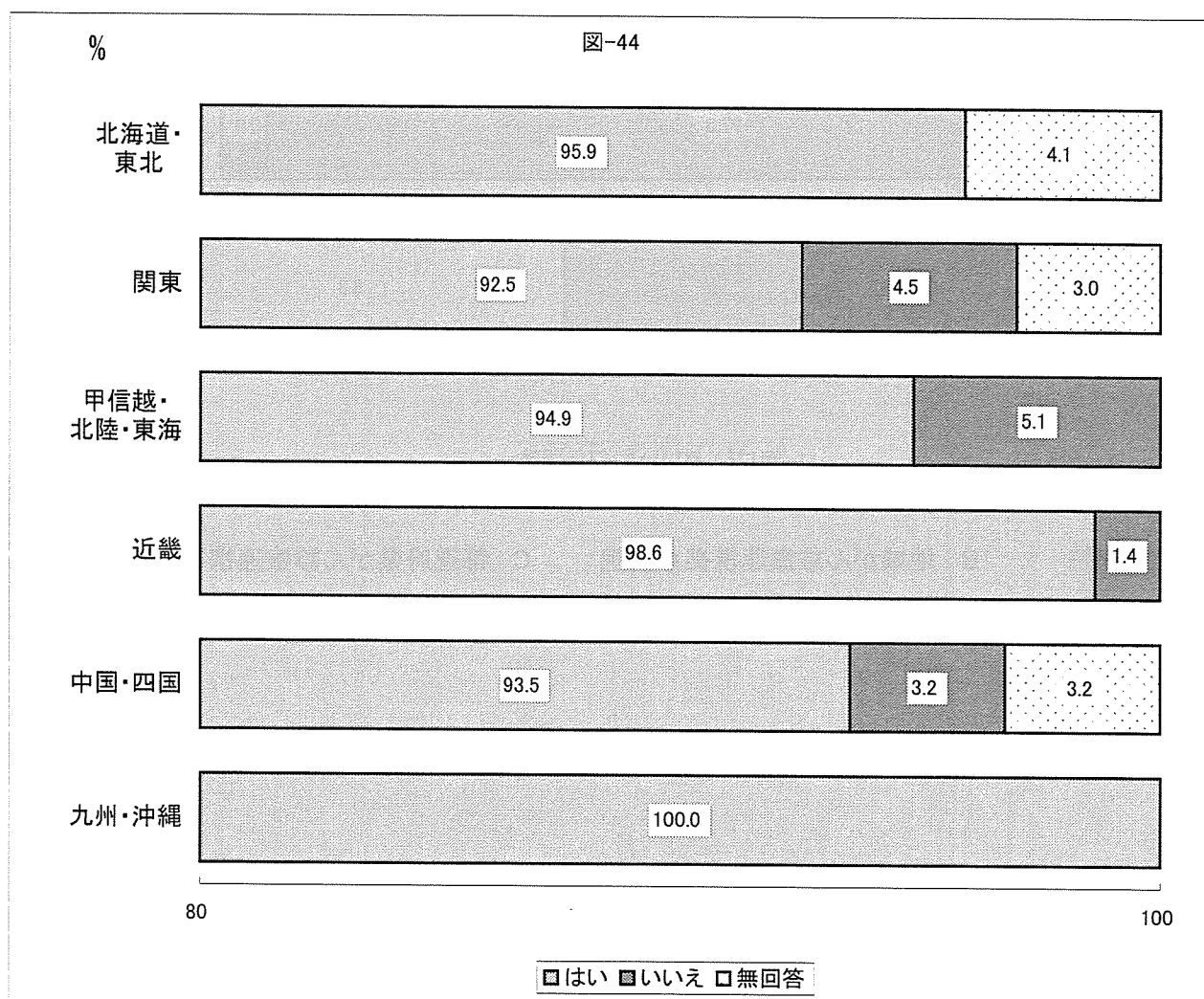
A : その他の病院

B : 地域がん診療連携拠点病院

C : 都道府県がん診療連携拠点病院

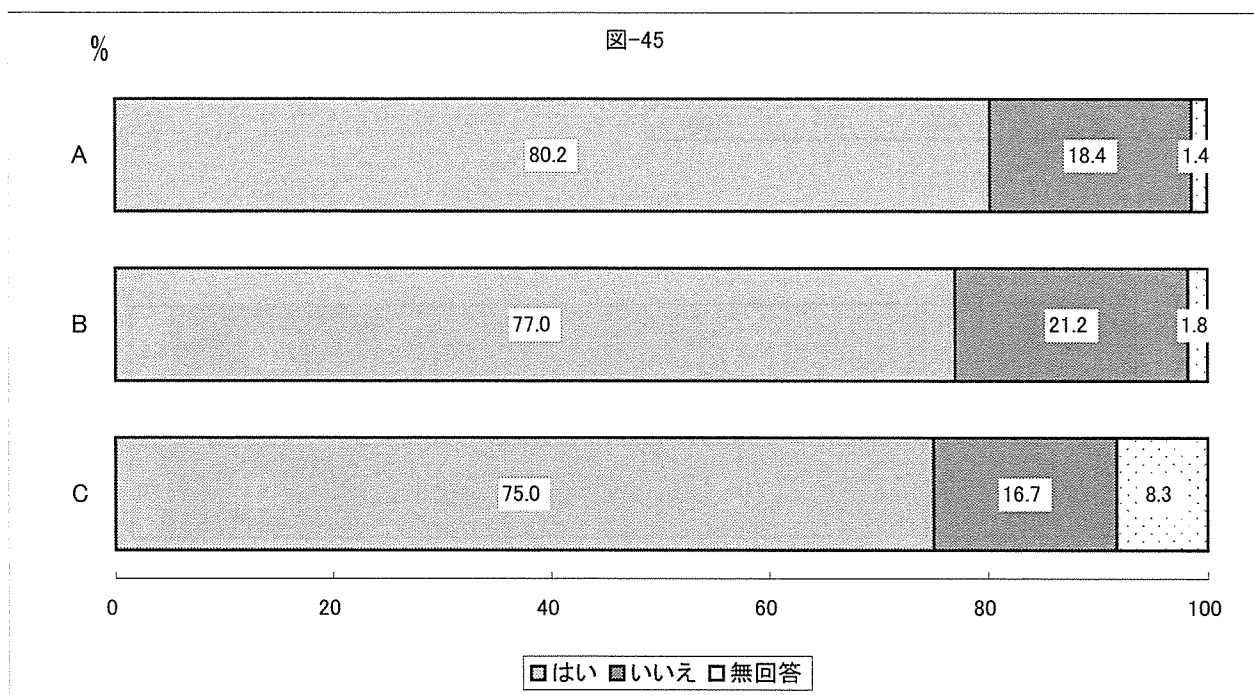
44. 緊急事態に備え、外来化学療法を受けている患者が常時、自院あるいは紹介先に入院できる体制が整っている

回答		はい	いいえ	無回答	合計
北海道・東北	N	47		2	49
	%	(95.9)		(4.1)	(100)
関東	N	62	3	2	67
	%	(92.5)	(4.5)	(3.0)	(100)
甲信越・北陸・東海	N	74	4		78
	%	(94.9)	(5.1)		(100)
近畿	N	72	1		73
	%	(98.6)	(1.4)		(100)
中国・四国	N	29	1	1	31
	%	(93.5)	(3.2)	(3.2)	(100)
九州・沖縄	N	39			39
	%	(100.0)			(100)



45. 外来化学療法で治療を受ける患者の観察体制が整備され、急変に直ちに対応できる医師が外来に常駐している

回答		はい	いいえ	無回答	合計
A	N	170	39	3	212
	%	(80.2)	(18.4)	(1.4)	(100)
B	N	87	24	2	113
	%	(77.0)	(21.2)	(1.8)	(100)
C	N	9	2	1	12
	%	(75.0)	(16.7)	(8.3)	(100)



A : その他の病院

B : 地域がん診療連携拠点病院

C : 都道府県がん診療連携拠点病院

45. 外来化学療法で治療を受ける患者の観察体制が整備され、急変に直ちに対応できる医師が外来に常駐している

回答		はい	いいえ	無回答	合計
北海道・東北	N	37	10	2	49
	%	(75.5)	(20.4)	(4.1)	(100)
関東	N	52	13	2	67
	%	(77.6)	(19.4)	(3.0)	(100)
甲信越・北陸・東海	N	64	14		78
	%	(82.1)	(17.9)		(100)
近畿	N	56	16	1	73
	%	(76.7)	(21.9)	(1.4)	(100)
中国・四国	N	23	7	1	31
	%	(74.2)	(22.6)	(3.2)	(100)
九州・沖縄	N	34	5		39
	%	(87.2)	(12.8)		(100)

